

CNJ Speakers

Know (≠ No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
05

Special Talk ~影山ヒロノブ
CNJ News / CNJ Report

AKIBA Cancer Forum / 私たちの草の根活動
海外がん医療 TOPICS 「骨粗しょう症について」



夢の実現のために がんばる子どもを応援したい

影山ヒロノブ

大阪市出身。シンガーソングライター、作詞家、作曲家。1977年にLAZY(レイジー)のボーカルとしてデビュー。1985年よりアニメ、特撮ソングに出会い、「ドラゴンボールZ」の主題歌「CHA-LA HEAD-CHA-LA」など、数々の名番組の主題歌を担当。2000年にアニソン界に大きな足跡を残すJAM Project(ジャムプロジェクト)を結成。日本のみならず海外での人気も高く、ワールドツアーも敢行した。最新アルバム「THUMB RISE AGAIN」を引っ提げてのツアーは、4月12日(土)に福島県のいわきアリーナ・大ホールでファイナルを迎える。また、アコースティックスタイルで、全国津々浦々まで音楽を届けている。

「ドラゴンボールZ」の主題歌を歌い、「アニソン界のプリンス」の異名を持つ影山ヒロノブさん。小児がん・若年性がん患者支援のチャリティーライブ「Rock Beats Cancer」への出演や、がんと闘う若者を応援する「樋口宗孝がん研究基金」へのご寄付、がん体験者へのライブ招待など、多大なるご支援をいただいています。今回は、同じバンドのメンバーだった故・樋口宗孝さんとの思い出や、がん患者支援に関わる想いを伺いました。

バンド仲間として青春時代を共にした

樋口さんのがん宣告は衝撃でした

—自己紹介をお願いします。

影山 大阪の友人と結成したバンド「LAZY(レイジー)」でデビューしてから37年が経ちました。現在は、ソロシンガーとして、アニソングループ「JAM Project(ジャムプロジェクト)」のリーダーとして、再結成した「LAZY」のリードボーカルとして活動しています。

—「LAZY」のメンバーだった樋口宗孝さんは2008年に肝細胞がんで亡くなられましたが、樋口さんとの印象的な思い出を教えてください。

影山 中学生のときに同級生と結成したロックバンド「LAZY」に、2年先輩の

樋口さんが加わったのが最初の出会いです。思い出はたくさんありますが、10代ころは本当によく喧嘩をしました。リーダーだった樋口さんの決定事項に一番逆らっていたのが私です(笑)。いつも組み合わせの喧嘩になって…。まあ、いつも私がこてんぱんにやられていたのですが(笑)。樋口さんは目的意識がはっきりしていて迷いが出るのを嫌がるので、私みたいに逆らう者がいると力だねじ伏せるといふか、いい意味で豪腕なリーダーシップでした。今思えば、東京に出てデビューできたのは、「LAZY」というアマチュアバンドが樋口さんと出会えたおかげだと思います。

す。それまでプロになりたいと思ってもうしたら良いか分からなかった。でも樋口さんはきちんとヴィジョンを持っていて、「オーディションを受けよう、いろいろ探してくるから!」と。それで受けた一発目のオーディションでスカウトされて、上京することにになりました。それは樋口さんの運と、強烈なカリスマ性があったからだと思いますね。

—「LAZY」の解散後、樋口さんは「LOUDNESS (ラウドネス)」というバンドで世界的なドラマーとして活躍されました。病気が見つかったところに交流は?

影山 樋口さんからは行きつけのお店や夜遊ぶところなどもいろいろ教わりました。当時は、一緒に演奏する機会は少なくなっていました。共通の仲間たちとよく飲みに行っていました。そんなところに突然、「樋口さんが肝細胞がんで、余命半年」というのを聞かされました。自分の中で樋口さんは最強の存在だったし、世間では、がんの治療率も高くなっていると聞かれています。だから、最初は「冗談だろう」と思いました。でも、樋口さんのがんは特殊なタイプで難しいと聞き、すごくショックでした。あと半年なんて、そんなことが本当にあるのかと信じられませんでした。

—樋口さんには闘病中に会われましたか?

影山 入院している神戸の病院へ、一度だけ会いに行きました。樋口さんに頼まれた神戸牛のお弁当をお土産に持って。そのときの樋口さんは、「おぉ、よう来たな」

と言ってくれて、「髪の毛がこんなに抜けるんや」と言いながらも、すごく明るくて元気でした。その姿を見て、「もしかして治るのかな」と思ったくらいです。でも本当に半年で亡くなられました。

がんと闘う若者を応援するのは

ロックミュージシャンとして当然のこと



—2012年にご縁があり、

「LOUDNESS」のマネジメントを担当する方とつながり、「樋口宗孝がん研究基金」(以下、MHF)を設立しました。その年にご招待いただいた「樋口宗孝追悼ライブ」で初めて影山さんとお会いしたのですよね。影山さんが、招待者であるがんを経験した子どもたちを楽屋に入れてくださり、言葉をかけていただいたのが印象に残っています。がん体験者に直接会って、どんなことを感じられましたか。

影山 そのときはすごく鮮明に覚えています。がんを経験しているというのを聞いてから会ったのですが、子どもたちがとても明るくて元気だった

ことが、いい意味でショックでした。

—その後、弾き語りライブの収益金を、MHFに寄付するというお申し出をいただき驚きました。それは、がん体験者との出会いが関係していますか。

影山 もちろんです。お金を寄付するというと、かしまった感じがしますが、自分の中では、ソロのアコギで一生懸命に歌う、その気持ちをそのまま贈りたいという想いなのです。それが自分にとって、等身大でできる精一杯のことかなと思っています。

—ご寄付に心から感謝していますし、影山さんのファンの皆さんにもお礼を申し上げます。

影山 ファンの皆さんにも、ちゃんと伝えてあります。「LAZY」のファンにとつては、今でも樋口さんは大切な存在なので、樋口さんの名のもとに、自分たちが何かできるのであればやりたいという気持ちをみんな持ってくれています。本当に小さなライブですが、遠くまで聞きに来てくれる方も増えました。

—もう一つ、影山さんにもご出演いただいた「Rock Beats Cancer」ですが、海外のように日本でもロックスピリッツを持ったアーティストとファンの皆さんで、若くしてがんと闘う子どもたちを元気にしていけたらという想いで開催しています。参加されていかがでしたか。

影山 イベントの持つ意味は大きいですが、ね。やはり、ロックミュージシャンは、あらゆるミュージシャンの中でも、特にそ



2012年の「樋口宗孝追悼ライブ」にご招待いただいた小児がん・若年性がんの体験者と、影山ヒロノブさんをはじめアーティストの皆さんとの一枚。忘れられない思い出になりました



がんになっても前向きに生きる姿を尊敬

夢を諦めずにがんばってほしい

ういうことをやるべきだと思います。ロックは本来、普通に暮らす人たちと一番近いものであるべきで、等身大のことをやるのがロックですから。クラシックのミュージシャンのように学校で音楽を学んだエリートではないけれど、ギターが好き、ドラムが好きという気持ちで音楽をやり始めて、それがラッキーにもプロになれて、自分の人生を、夢だったミュージシャンとし

て何十年も歩ませてもらっている。そういうミュージシャンたちが、若くしてがんになってしまった運命とも闘いながら、夢の実現のために前向きにがんばろうとしている人たちが応援するのはすごく当然のことだと思います。今まで「Rock Beats Cancer」がなかったのが不思議なくらいです。できることなら毎回参加させてもらいたいと思っています。

—JAM Projectのライブにもご招待いただき、小児がんの子どもたちと一緒に聞かせていただきましたが、歌詞がグッと心に響いてきました。

影山 私たちが歌うヒーローもののアニメの結末は、どれも100%ハッピーエンドです。途中のプロセスは、かなわない強敵に出会ったり、大きなダメージを受ける境遇に陥ったり、絶対に越せないような壁に立ち止まったりするけれど、あるときは友だちに助けられ、あるときは修行して自分のスキルとメンタルを鍛えて、最終的にはその問題をぶつ飛ばして自分の夢に向かって踏み出す、それがヒーローアニメです。JAM Projectの歌はその応援歌なので、「ポジティブにみんな生きよう」というような元気を呼び起こす歌になっています。「落ち込んだ時に聞いてがんばっています」とファンの方がよく言ってくれます。みんなそれぞれ違う境遇の中で、一人一人が闘っている。私たちがやるべきことは、その背中を押せるような歌を作ることだと思います。

—最後にがん闘う子どもや若者へメッセージをお願いします。

影山 私から言えることがあるとすれば、「応援しているから夢を諦めずにがんばってほしい」ということです。「Rock Beats Cancer」に出演してから、がんを克服した方や未だ闘病中の方と会う機会が増え、手紙をもらったりします。それを読むと、すごく前向きに自分の人生に向かっていく姿

を感じます。きつと心の中に不安はいつもあると思いますが、そんなことは出さないで、「これからこんなことをやりたい」ということを伝えてくれる手紙なんです。そういうことが歌い手として「Rock Beats Cancer」に出させていたたくモチベーションになっていきますし、私はいろんな意味で若い彼女たちを尊敬しています。自分の夢をかなえるために、病気を克服してくれることを願っています。

—ありがとうございます。今後も一緒にいろいろな活動をさせていただければと思っています。



昨年、京都の東寺で開催した「Rock Beats Cancer」のステージに立つ影山ヒロノブさん。その歌声に大きな勇気をいただきました



ツイッターでも質問を受け付けます。ハッシュタグは #apital

聴料
視無

アピタル

検索

Ustream によるインターネットで生中継!

<http://apital.asahi.com/school/>



過去の動画も
いつでも
閲覧できます。



司会: フリーアナウンサー
小林 美幸さん



校長: 田村 和夫 先生
福岡大学医学部腫瘍・血液・
感染症内科学、第12回日本
臨床腫瘍学会学術集会会長



NPO法人キャンサーネットジャパン(以下、CNJ)がUDXオープンカレッジと協働で秋葉原UDXで開催してきた、がん医療セミナー。2014年は新たに朝日新聞医療サイト「apital(アピタル)」に参加

画いただき、「アピタルがん夜間学校」として生まれ変わりました。1月・2月・3月は特別講義として、「がんと小児・AYA世代のこと」「がんと骨転移のこと」「がんと美容のこと」を実施してきましたが、4月からはよいよ本講義がスタートします。

校長には田村和夫先生(福岡大学医学部

本授業は USTREAM でライブ配信を行い、ツイッターで質問や感想も募集します。会場へ足を運ぶのが難しい方や遠方の方も、インターネットからご参加ください。

腫瘍・血液・感染症内科学)を迎え、毎月第3水曜(4月のみ第2水曜)・午後7時30分から、がんと生きる上で欠かせない生の情報をお伝えする「授業」を行います。

4月は「がんと運動のこと」、5月は「がんと食事・栄養のこと」、6月は「がんと代替医療(サプリメント)のこと」をテーマに実施します。がんとともに、よりよく生きるためのエッセンスがギュッと詰まった授業です。現在、会場で聴講される受講生を募集しています。

「がん夜間学校2014」ネット動画番組 がんと生きる上で必要な情報を伝える!

アピタル夜間学校シリーズ



がん夜間学校 2014年間スケジュール

4月9日(水)

もっと知ってほしい
がんと運動のこと

田沼 明 先生

(静岡がんセンター リハビリテーション科)

5月21日(水)

もっと知ってほしい
がんと食事・栄養のこと

吉川 貴己 先生

(神奈川県立がんセンター 消化器外科)

川口 美喜子 先生

(大妻女子大学家政学部 臨床栄養管理研究室)

6月18日(水)

もっと知ってほしい
がんと代替医療(サプリメント)のこと

住吉 義光 先生

(玄々堂木津クリニク副院長)

2014年7月16日(水)

もっと知ってほしい がんと放射線治療のこと

2014年8月20日(水)

もっと知ってほしい がんと化学療法のこと

2014年9月17日(水)

もっと知ってほしい がんと分子標的薬のこと

2014年10月15日(水)

もっと知ってほしい がんと脱毛・皮膚のケアのこと

2014年11月19日(水)

もっと知ってほしい がんと感染症のこと

2014年12月17日(水)

もっと知ってほしい がんと口腔ケア・デンタルケアのこと

2015年1月21日(水)

もっと知ってほしい がんと糖尿病のこと

2015年2月18日(水)

もっと知ってほしい がんと痛みのこと

2015年3月18日(水)

もっと知ってほしい がんと在宅医療のこと

各セミナー申し込み・詳細は↓

<http://www.cancernet.jp/event/apitalcancer>

樋口宗孝がん研究基金新古ウィッグプレゼント 小児がん・若年性がんの患者へ 医療用新古ウィッグをプレゼント

毎年約7000人の子どもや10代・20代の若者が、新たに「がん」と診断されています。抗がん剤や放射線治療の影響で、脱毛を余儀なくされる方も少なくありません。

この度、CNJの医療用ウィッグレンタルサービス「医療用かつらデリース」を共同運営している株式会社東京義髪整形より、「レンタル期間が短かった新古ウィッグを、若くしてがんと闘う方たちに役立ててほしい」とのお申し出をいただきました。そこで、若いがん患者支援を行なう樋口宗孝がん研究基金にて、29歳までがんと診断された方へウィッグを無料でプレゼントします。

樋口宗孝がん研究基金
若くしてがんと闘う人たちに
新古ウィッグプレゼント



プレゼント内容

種類：女性用・男性用・子ども用の
新古ウィッグ

対象：29歳までにがんにかかった方

※詳細はホームページ

<http://www.cancernet.jp/mhf4car/wig.html>

状態のよいきれいな医療用ウィッグがそろっています。お顔に合わせて毛量の調整やカットも有料*でできます。写真は大人の女性用ショート。（*ウィッグ調整料 5,000円[税別]）

抗がん剤の脱毛について専用サイトを公開中！

専用サイトでは、脱毛の仕組みや自宅でのケア、ウィッグの選び方などのほか、経験者の体験談も動画で紹介しています。がんを乗り越えるために避けられない副作用。心身ともに脱毛の準備をするために役立ててください。

<http://www.cancernet.jp/datsumou>



「もっと知ってほしい」シリーズ冊子 「もっと知ってほしいがん患者の気持ち」 「大腸がん」「臨床試験」の冊子を発行

CNJが発行している、患者さん・ご家族向けの冊子「もっと知ってほしい」シリーズの冊子に、新たな仲間が加わりました。今回は、日本で2番目に患者数が多い「大腸がん」と、治療中に耳にすることも多い「臨床試験」の冊子です。

「もっと知ってほしい大腸がんのこと」は、検査・診断から治療法まで、治療を受ける患者さんに知っていただきたい情報を分かりやすくまとめています。

「もっと知ってほしい薬の開発と臨床試験のこと」は、「聞いたことあるけど、よく分からない」という方へ向けて、臨床試験を経験した患者さんの声を盛り込みながら詳しく紹介しています。

さらに、このたび初めて

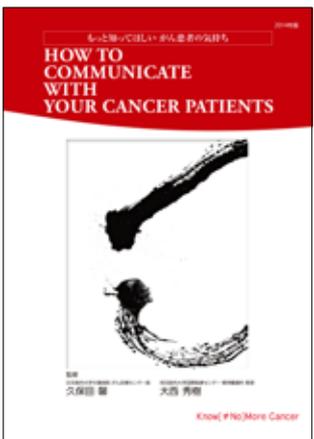


もっと知ってほしいシリーズ冊子はHPからダウンロードできます。※医療者向けの冊子はダウンロードできませんのでご了承下さい

<http://www.cancernet.jp/publish>



医療者向けの冊子「もっと知ってほしいがん患者の気持ち」も作成しました。医療者の皆さんにとって、患者さんとのコミュニケーションに役立つ一冊になることを願っています。





あなたの貴重な体験を伝えて
がん啓発に貢献しませんか？

がん体験者スピーカー養成講座



がん体験者講師の
ご紹介もします！

がん体験者スピーカー養成講座の開講とともに、修了者のご紹介も兼ねて、がん体験の生の声をお届けできる講師の一覧サイトを公開しました。がんの部位、年代、居住地、一言メッセージなどをご覧いただき、企画主旨に合わせてご希望の講師をご紹介できるよう、登録講師を増やしていく予定です。講師への依頼、紹介は原則として有償ですが、公的団体からのご依頼にはご相談に応じます。

<http://www.cancernet.jp/speaker/>



4月は卵巣の境界悪性腫瘍をご経験された麻美ゆまさんがゲストです

「MBS Jump Over Cancer」は、より多くの方々へ情報をお届けできるよう、毎回、がんをはじめとした病気を経験したアーティストをお招きし、疾患に関する情報発信だけに留まらず、がんに関連するさまざまな問題も取り上げていきます。セミナーは、4月、6月、8月、10月、12月の全5回を予定しています。

（大阪市北区茶屋町17-1）

本プログラムを通して、がん対策推進基本計画で国が掲げる、「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんを負けることのない社会」を実現する手助けになることを目指します。がんと診断された方が、どのようにがんに向き合い、生きていくか、みんなで一緒に考えていきましょう。第1回は、4月22日（火）午後7時～8時30分に、「がんと向き合う女性の悩み」をテーマに開催。会場は、MBS本社1階ちゃやまちプラザステージ

CSJ養成講座 がん体験者スピーカー養成講座を開講 あなたの体験を効果的に伝えませんか

前号の季刊誌でご紹介した「がん体験者スピーカー養成講座（キャンサー・サバイバー・スピーカー・CSJ養成講座）」を、4月に開講しました。7コマの講義視聴とレポートの提出で完結する講座はすべてWeb-Learningで受けられるので、遠方の方もお忙しい方も、自宅で自分のペースで受講していただけます。

CSJ養成講座は、がん体験の伝え手として間違った情報を啓発しないよう、がんに関する基礎知識を学んだ上で、自身のがん体験をまとめ、それを効果的に伝えるポイントを習得できます。受講を終えると、がん体験を伝える講演バツケージが完成する内容となっております。

MBS Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと 4月22日（火）は麻美ゆまさんが登場

「MBS Jump Over Cancer」とCNJが連携してさまざまな疾患を取り上げ、がんに対する正しい予防・検診の啓発や、患者さんとご家族へ科学的根拠に基づいた有益な医療情報を提供してきた「MBS Jump Over Cancer」は、より多くの方々へ情報をお届けできるよう、毎回、がんをはじめとした病気を経験したアーティストをお招きし、疾患に関する情報発信だけに留まらず、がんに関連するさまざまな問題も取り上げていきます。セミナーは、4月、6月、8月、10月、12月の全5回を予定しています。

講師は関西労災病院産婦人科部長 伊藤公彦先生、ゲストはセクシーアイドルとして人気の麻美ゆまさんです。伊藤先生による女性の病気についての講演のほか、お二人のトークセッション、麻美ゆまさんのライブを予定しています。WEBでも生配信するので、会場に足を運べない方もご覧いただけます。



がんについてどれだけのことを知っていますか？誤解、偏見、勘違い…情報があふれている時代だからこそ正しい情報を知ってほしい。放送局とNPOが手を組んで開催してきたセミナー。2013年に続き、2014年もゲストを招いて開催します!! セミナーはLIVE配信でもご覧いただけます!



詳細は <http://www.cancernet.jp/mbscnj/> をご覧ください



受講生に聞く！ BEC を勉強していかがでしたか？



あらためて "自分を知る" ことができ、正しい知識を持って病気と向き合えるようになった (40代・女性)



同じ体験者と出会うことで勇気づけられた (40代・女性)



正しい情報を知る、調べることの大切さを学んだ。ロールプレイの実技練習はためになった。(30代・女性)



BEC 後期プログラムの様子。はじめて会う方同士もすぐに打ち解け、和やかな学びの時間となりました



BEC・CIN のフェイスブックへは下記ホームページからアクセスできます
<http://www.cancernet.jp/training>

BEC・CIN 養成講座 BEC9 期生として 34 名が認定 BEC・CIN のフェイスブックも開設

約1年かけて学んできた乳がん体験者コーディネーター (BEC)、がん情報ナビゲーター (CIN) 養成講座。BEC は、2月に後期プログラムのケーススタディが行われ、3月には受講生が東京に集い全体発表を実施。BEC9 期生として、34名の認定者が誕生しました。

BEC 後期プログラムで

お会いした受講生に今後の目標を伺ったところ、「医師と患者の橋渡しの役目をしてほしい」(50代・女性)、「患者会の活動に生かしたい」(40代・女性)、「明るく楽しく過ごせるがん女子会を作りたい」(50代・女性) など、さまざまな夢が広がっていました。

またCINは、約1年かけて学んできた知識を問われる認定試験を3月末に実施。4月中旬に合格者が発表され、CIN9 期生が誕生する予定です。

皆さんそれぞれが胸に秘めた「これからやりたいこと」。BEC・CINとしての皆さんのこれからの活動を、CNJは応援していきます。

まもなく10期生の募集もスタート。BEC・CIN専用のフェイスブックページも開設しているので、最新情報などのチェックや認定者同士の交流にご活用ください。



Cava! (サヴァ) さいたま BEC



2011年より、さいたま市を中心に、乳がん体験者向けのイベントを企画運営。「地元で気軽に笑顔で集まれる」をコンセプトに、おしゃべり会・ヨガ・アロマ・リコーダー・手芸部 1day

レッスンなど、乳がんになっても楽しいことが見つかる場、体験者同士だから分かり合える場を提供しています。気軽に参加できるように会員制はとっていません。おしゃべり会は申し込み不要、無料で行っています。

BEC6 期生の3人で手さぐりで始めた活動ですが、たくさんの方々とつながることができ、その輪はどんどん広がっています。これからも参加者の皆さんとともに、楽しい『乳 (NEW) がんライフ』を発信していきます。

★乳がん体験者さんのおしゃべり会「Cava 談話 (だんご)」
 ※予約不要 毎月第3水曜 10:00 ~ 11:45
 ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/cava2011>

京都乳がんピアサポートサロン ~ fellows ~

「京都乳がんピアサポートサロン~ fellows ~」は京都市右京区西院にある株式会社太洋堂本社の会議室をお借りしてピアサポート活動をしています。個別相談が基本ですが、「勉強会」や「共に楽しむ会」を企画して、いろいろな体験者の話を聞きたい、仲間がほしいという方々に集いの場を提供しています。活動を始めて丸2年が経ち、京都市内の6箇所の拠点病院、2箇所の乳腺クリニックにパンフレットや企画チラシを置いていただけようになりました。



代表の吉田羊子さん (BEC7 期生)

これから、患者が患者を支えるピアサポートのニーズはさらに高まると考えています。行政が院内のピアサポート導入を検討されるときにそのモデルとなり、協働できることを目指しています。

★ピアサポート活動 毎週金曜 ※要予約 (電話・メール)
 詳細は以下のホームページにて確認してください
 HP: <http://kyotopeersupport.com/>

アキバ・キャンサー・フォーラム開催決定

Save the DATE !! 8.9(sat)@AKIBA

<http://www.cancernet.jp/acf/>

がん患者さん
ご家族
市民のために！
最新がん医療
フォーラム開催



AKIBA Cancer Forum Programs

■ 専門医による疾患ベースのセミナー

肺がん・乳がん・前立腺がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・子宮頸がん
卵巣がん・脳腫瘍・肉腫・血液がんなど約 20 のがん種の最新情報

■ がん治療を受ける上で知っておきたい情報セミナー

乳房再建・妊孕性・骨転移・緩和ケア・代替療法
がんとお金・がん情報とインターネット・がんと統計など

■ 一般参加者向けの学べるセミナー

・がんって遺伝するの？ ・がん検診のホント ・子宮頸がんのワクチンなど

■ がんエンターテインメント

乳がん治療薬開発の実話がももになったハリウッド映画「希望のちから」の
上映会など

■ フィットネスとがんの部屋

・ヨガ体験クラス ・ここまでわかっている“がん運動” など

■ プロによるメイク&フォトプログラム

プロのメイクと、カメラマンの撮影でとっておきの 1 枚を

■ 夏休みの宿題にも！キッズセミナー

子どもも楽しめるキッズセミナーを計画中

■ 豊富な企業展示ブース

がん治療に関わりのあるさまざまな展示ブースを予定

※プログラムは予定です。変更の場合もあります
※詳細は随時 HP にて掲載していきます

米国のリブストロング財
団の言葉に、「We believe
that unity is strength,
knowledge is power and
attitude is everything.」私
たちは、団結は強さ、知識
は力、そして、その姿勢が

全てであると信じる」とい
う言葉があります。
私たち CNJ も、知識
の根源となる「がん医療情
報」は、とても大事なもの
で、とりわけ科学的根拠に
基づくがん医療情報は、が
ん患者さん・ご家族・市民
にとって必要不可欠だと考
えています。CNJ 設立
以来、公正で公平な科学的
根拠に基づくがん医療情報
の発信は、私たちのミッ
ション（使命）です。

数年、CNJ のセミナー
には 1 万人以上の方にご参
加いただき、またそれらの
動画視聴回数は 100 万回
に届くものとなりました。
玉石混交のがん医療情報が
あふれる今こそ、私たちの
ミッションは、より重要な
ものと認識しています。
そこで、今年初めての試
みとして、8月9日(土)に、
近年のがん医療の進歩や、
がん医療における最近の話
題をテーマに、「知る」[学
び]「集む」を目的に「AKIBA
Cancer Forum」を開催し
ます。私たちは、政府・行

政機関ではなく、医療
機関でも、企業でもあ
りません。
このフォーラムで
は、あらゆる機関、団
体、組織、企業の影響
を受けず、独立性を
もって、第三者的な立
場として NPO の役割
を果たすべく、患者さ
ん・ご家族・市民にとっ
て有益ながん医療情報
を提供します。
Save the DATE!! 8.9
(sat) @AKIBA 多くの
皆さんのご参加をお待
ちしています。



アピタルがん夜間学校 1月に「がんと小児・AYA世代のこと」 2月に「がんと骨転移のこと」を開催

2014年度も秋葉原UDXオープンカレッジでのセミナーがスタートしました。今年度は、朝日新聞の医療サイト・アピタルとの共催で、どのがん種にも共通するテーマを取り上げ、「アピタルがん夜間学校」として毎月第3水曜の午後7時30分から開催します。当日はUstreamライブ配信とTwitterからも質問を受け付け、登壇者より回答します。

第1回目は、1月15日に「もっと知ってほしいがんと小児・AYA世代のこと」を開催。チャイルド・ケモ・クリニックの楠木重範院長の基調講演と、AYA世代のがんサバイバー・樋口祐介さんと濱中真帆さんから体験談



院整形外科・
脊椎外科の篠
田裕介先生を
迎え、整形外
科医の視点か
ら「がんの骨
転移」につい

を伺いました。CNJとして、今後がんサバイバーの声を傾け、AYA世代の患者支援を続けていくことを改めて共有したプログラムとなりました。後半のトークセッションには、九州発のアイドルグループ「JINGO（リンク）」の桃咲まゆさんにも参加いただき、最後には「JINGO」のスペシャルライブで、会場は元気がいっぱい楽しい雰囲気に包まれました。

98名の来場者により、2万4800円のご寄付をいただき、レモネードスタンドも大盛況でした。

2月19日には、秋葉原UDXシアターにて「骨転移」をテーマに開催。講師には東京大学医学部附属病

て大変分かりやすくお話いただきました。後半の「Q&Aトークセッション」では、緩和ケアパートナーズ代表で、がん看護専門看護師の梅田恵さんにも加わっていただき、臨床現場の豊富な経験からのアドバイスと共に、来場者やTwitterからの質問にお答えいただきました。当日は雪が予想された夜間の開催にも関わらず、100名を超える参加があり、4万500円のご寄付をいただきました。

「ずっと骨転移についての情報がほしかった」と言われる高齢の方が多く来場され、「ありがとう。来てよかった」とのお言葉をたくさんいただき、CNJスタッフも励まされました。次回以降のスケジュールは、P5をご覧ください。



ブルーリボンキャンペーン2014 もっと知ってほしい大腸がんのこと 国際的な大腸がんの啓発月間に東京で開催！

3月2日、4年目を迎えるブルーリボンキャンペーンの1回目を東京で開催。当日は、339名が来場されました。3月は、国際的な大腸がんの啓発月間。その皮切りに、東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂にて開催し、同大医学腫瘍外科学の杉原健一先生、石黒めぐみ先生に講演をいただきました。さらに、東京女子医科大学の板橋道朗先生から大腸がんの外科的治療について、愛知県がんセンターの室圭先生から大腸がんの薬物療法について講演をいただきました。

司会の中井美穂アナウンサーからは、患者の立場にたった質問が先生方に投げかけられました。そのほか、若いオストメイトの会「プー

ケ」の椋田千絵さんによる体験談や、日本オストミー協会の石井京子さんによる情報提供の時間も。クラシックギターデュオ「いちむじん」の演奏もあり、参加者は元気づけられ、癒されました。

会場には、大腸がんの検査や治療で使用される様々な機器の展示、実演、体験コーナーも開設され、多くの方がブースを訪れました。普段は間近で見られない機器を前に、「医療機器の詳しい説明や実演は理解に役立った」などの感想をいただきました。

当日は、5万8000円のご寄付とグッズの売り上げとして6万3150円のご支援をいただきました。次回は7月24日（木）に名古屋で開催します。



骨粗しょう症（骨粗鬆症）は骨が非常に脆くなる疾患で、無症候で数年間にわたり進行します。アジア人、小柄な体格、閉経後の女性、甲状腺機能亢進症や糖尿病、関節リウマチなど健康上の問題を持つ人は一般的に高リスクです。また加齢など生理過程に起因する原発性骨粗しょう症とは別に、がんサバイバーは、がんに由来する、またはがん治療の副作用として続発性骨粗しょう症を発症する可能性があります。

骨粗しょう症は治癒しませんが治療可能ですので、早期に効果的な治療を受けることが非常に重要です。骨粗しょう症の症状には骨折、体重減少、前屈姿勢、上背の曲がり、骨の圧痛、身長が3cm～5cm縮むことなどがあります。

また骨粗しょう症でなくとも、骨塩量（骨密度）が正常量より低い場合、骨減少症と診断されます。骨減少が骨粗しょう症の前駆症状である可能性もありますが、多くの骨減少患者は骨粗しょう症を発症することはありません。気になる症状があったら、医師に相談しましょう。

- 乳がん
- 前立腺がん
- 多発性骨髄腫
- 肺がん、精巣がん、卵巣がん、子宮内膜がんなどの固形がん
- 性ホルモン（テストステロン、エストロゲン）を抑制するがん治療

がんに関連する骨粗しょう症のリスク要因には次のものがあります。

骨粗しょう症を発症したら、医療チームと共に骨量減少を遅らせる対策をとります。以下は骨粗しょう症発症リスクを減らすために、有用な方法です。

- 禁煙
- アルコール摂取量を減らす、または禁酒
- 運動
- 健康的な体重の維持
- カルシウム、ビタミンD、ビタミンKを取り入れた食事
- カフェインとビタミンAの過剰摂取を控える
- 転倒を避ける
- 骨量減少を抑える薬剤について医師に相談する

情報提供 / LIVESTRONG.COM、海外癌医療情報リファレンス ※ LIVESTRONG.COM は、リブストロング財団の公式サイトです

本誌の感想、CNJに期待すること、今後開催してほしいセミナー、参加されたセミナーの感想など、皆さまからのお便りを募集しています

お便りは、ハガキとメールで受付中！
E-mail: info@cancernet.jp
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階
[NPO 法人 キャンサー ネット ジャパン 読者の声係]宛て



◆ セミナーのアンケートから、参加者の皆さんの声を紹介します。

◆ 冊子が大変わかりやすく、難しかったです。特に化学療法について知りたいと思っていたので、役立たいと思います。室圭先生のお話が聞いて良かったです。父がFOLFOXを始めたので良い治療ができるようにと願っています。（東京・大腸がんセミナー参加／家族）

◆ がんの治療はその部位の医師が治療するものと思っていました。が、整形の先生に入って頂くことでQOLを良く保つのに有効だと言ったことがわかりました。（東京・もつと知ってほしいがんと骨転移のこと参加／患者）

みんなの声 Users Voice

CNJ Speakers 季刊誌 2014 年 SPRING

発行日 / 2014 年 4 月

編集発行 / NPO 法人 キャンサー ネット ジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階

電話 / 03-5840-6072 FAX / 03-5840-6073

E-mail: info@cancernet.jp

ホームページ: http://www.cancernet.jp

次号 予告 CNJ Speakers 6 号は 2014 年 7 月 発刊です



濱島 明美
大腸がんセミナー担当。
写真は2013年3月の赤坂チャリティマラソンでサバイバーとして走った時のものです

◆ ワーキングマザーの濱島です。2013年は、高校3年生の娘、中学3年生の息子を家に置き、毎週のように全国を飛び回っていました。子供たちのW受験は地獄を見ましたが、なんとか奇跡的に2人ともこの4月から進学しました。私が乳がんになって6月で満12年。私も子どもたちも、最近はずっかり忘れていますが、改めて親子で一緒にいられる時間を大事にしたいと思います。ということ、これからは家庭を顧みるワーキングマザーを目指します！

スタッフの声 Staff Voice

Pick Up!

がん情報ステーション

東京・大阪のがん情報ステーションでは、がん体験者や CNJ プロフェッショナルボランティアによる、患者・家族向けのプログラムを実施中です。

がん患者のためのメイクアップセミナー（東京）

脱毛による眉の書き方や、治療中の肌ケアなど、スキンケアからメイクアップまで希望に合わせた内容をレクチャーします。

※対象者／がん体験者

場 所／がん情報ステーション東京

実施日／希望日のリクエストを受けたあと調整

参加費／会員無料、非会員 1,000 円

3名以上の場合、指定場所への出張も可能です

(別途交通費+人数に合わせて一人1,000円以下の参加費がかかります)



ほかにもいろいろ開催中! <http://www.cancernet.jp/station> (各申し込みや詳細などもコチラから)



妻夫木聡 原田美枝子 池松壮亮 長塚京三
黒川芽以 ユースケ・サンタマリア 鶴見辰吾 板谷由夏 市川実日子

ぼくたちの家族

監督・脚本：石井裕也（「舟を編む」） bokutachi-kazoku.com

原作：早見和真「ぼくたちの家族」（幻冬舎文庫） 製作：「ぼくたちの家族」製作委員会 配給・宣伝：ファントム・フィルム ©2013「ぼくたちの家族」製作委員会

5月24日(土)
全国ロードショー

キャンサーネットジャパンは、映画「ぼくたちの家族」を応援しています！

大切な家族がある日突然「がん」と診断されたら…、あなたはどうしますか？

「がん」という病気、それを支える家族のあり方、医療者との関係、お金の問題…。

患者さん、ご家族、医療者の皆さんに見ていただきたい映画です。「がん」のこと、私たちと一緒に考えてみませんか。

影山ヒロノブ
ソノアコギの旅 4月編

■ 4月19日(土) 山梨県/桜座
【開場】17:30 【開演】18:00

■ 4月20日(日)
長野県/INDIA Live the SKY
【開場】17:00 【開演】17:30

チケット発売中

詳しくは SOLIDVOX HP → <http://solidvox.jp>
「ソノアコギの旅」では2013年からライブの収益の一部を「樋口宗孝がん研究基金」に寄付しています

カフェ グルーミング
ドッグホテル
Dog's Tail
オーナー：長与千種

ドッグズテイル

〒115-0051
東京都北区浮間 2-6-10
TEL. 03-3558-3553
FAX. 03-3558-3553

丁寧なメンテナンス済み 完全リフォーム ネットでは文
献書無料に取っ替え

— 医療用ウィッグの新しい選び方 —
医療用かつらレンタル・デイリースを
ご利用いただいた患者さまが無事に治療を
終わられて、不要となったウィッグを
完全にリフォームしてご提供します。

ご提供価格 **8,800円** (税込)

すぐつけたい スタイルが見れる 高品質なかつら

※詳細は、CNJのHPで発表します。

CancerChannel

患者・家族・支援者・医療者のための
新しいがん医療情報のカタチ。

映像×SNS
サイトの閲覧はすべて **無料**

がん医療セミナーやがん医療情報の映像を web* から配信。
スマートフォンやタブレットからも閲覧できます。(*Ustream・Youtube mediasite)

※スマートフォンやタブレットからのUstream、Youtube閲覧には専用のアプリのインストールが必要です。

<http://www.cancerchannel.jp>

寄付のお願い



NPO 法人キャンサーネットジャパンが、患者、家族のみならず提供するセミナー、冊子などは私たちの活動の趣旨に賛同いただく企業、個人の方々の支援に支えられています。NPO 法人のミッションとして、罹患者の多いがんだけでなく、情報が少なく、財源の確保が難しい小児がんなど稀少がんと言われる領域においても情報を提供してきました。今後も継続的にこれらのコンテンツを提供するために、多くのみなさまのご支援、ご寄付を何卒よろしくお願い申し上げます。

寄付については、こちらをご覧ください → <http://www.cancernet.jp/donation>

お問い合わせ

NPO 法人キャンサーネットジャパン

電話：03-5840-6072（平日10時～17時）

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

ファックス：03-5840-6073 メールアドレス：info@cancernet.jp

※このスペースに広告を掲載しませんか？ ※広告の掲載スペースにより金額が変わります。

詳しくはお問い合わせ下さい。NPO 法人キャンサーネットジャパン 季刊誌広告係まで / info@cancernet.jp

CNJ Speakers 季刊誌 2014 年 Spring